

# きふわらべ アピール文書

2021年03月28日 高橋智史

GENGO

## G O言語で書こうぜ？

DARE

### 誰なのよ？



開発者  
高橋 智史 (著作権上、問題ありません)

「何言語で書いてもバグるから  
使った事のある言語の数で競おうぜ？」



コンピュータ将棋エンジン  
きふわらべ (著作権上、問題ありません)

「もう開発期間 1か月ぐらいしかないのに……」



ひよ子 (著作権上、問題ありません)

「1か月で ーからコンピュータ将棋ソフトぐらい  
作れると言うのが主張よね」



「いや、コンピュータ将棋の大会に出てきて  
まだ 相手の玉を 詰まして勝ったことが 無いが……」

フロム・スクラッチ宣言

思考部に大きな影響を与える、他者の作成したプログラム・  
データ等を利用していません。

フリーフォント「たぬき油性マジック」 作者：たぬき侍 (利用ライセンス上、問題ありません)

<https://tanukifont.com/tanuki-permanent-marker/>

# イリーガルムーブをしない 方法

KIFUWARABE

## きふわらべ と当たりたくないんだぜ？



「1時間3000円で動かしているソフトが将棋の指し手を指せないソフトと当たったら大会出る気無くすしな。問題だぜ」



「飛車が味方の駒を飛び越えて前に出たらイリーガルムーブだぜ」



「飛び越えるなだぜ」



「そう思ってわたしはプログラミングしてきたがダメだった」



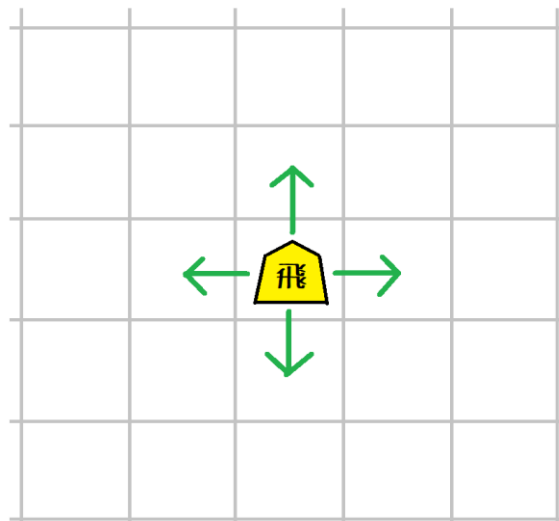
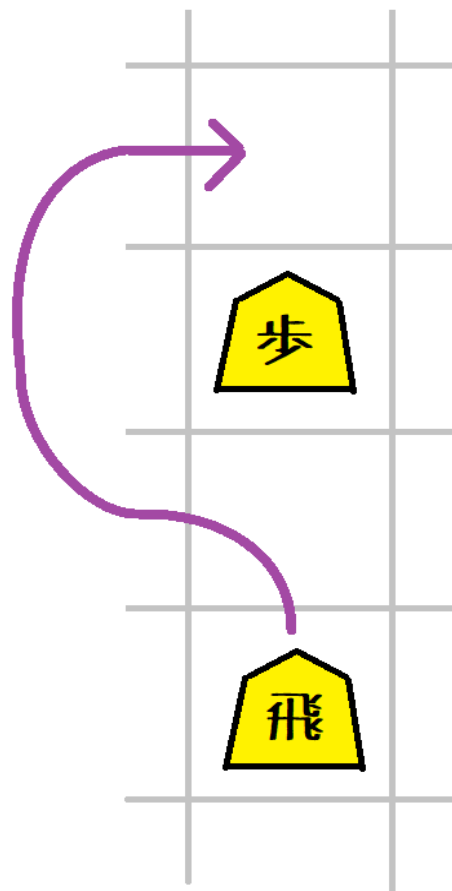
「簡単なのになあ！  
1つ前のマスを見て駒があるかないか調べるだけなのになあ！」

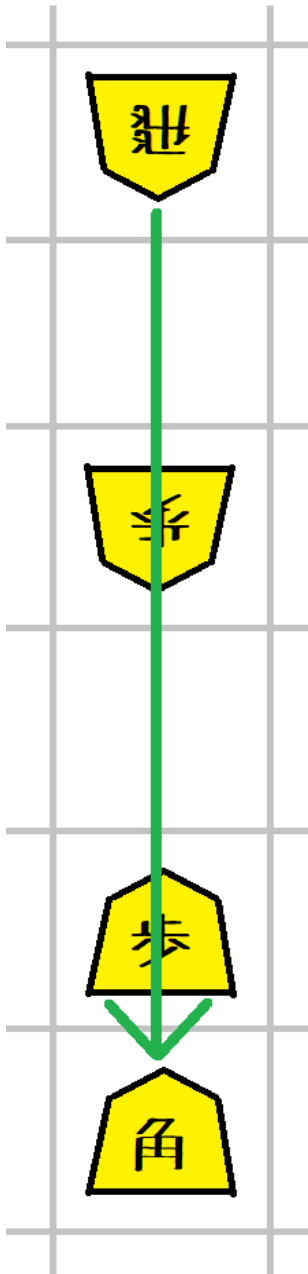


「そこで飛車は1マスしか動かない、ということにしておうぜ？」



「それじゃダメなんだぜ。相手の飛車は2マス以上進むんで」





「相手の飛車は 直線上の好きな所に止まれる、  
というルールにすれば いいのでは？」



「何がいいんだぜ？」



「プログラムするのがハタクソでも  
これは簡単だし、  
自分が貫通するわけではないから  
イリーガルムーブ判定は取られない」



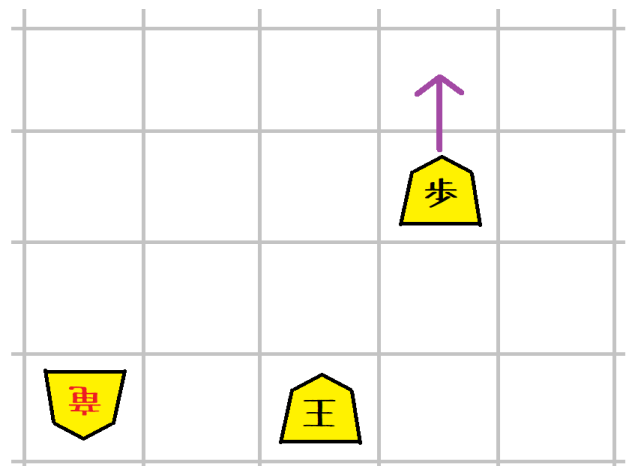
「今回は そういう趣旨なのねえ。  
独創賞ねえ」



「次に多いのが  
王手されてるのに  
王が逃げない、  
王手放置 だぜ」

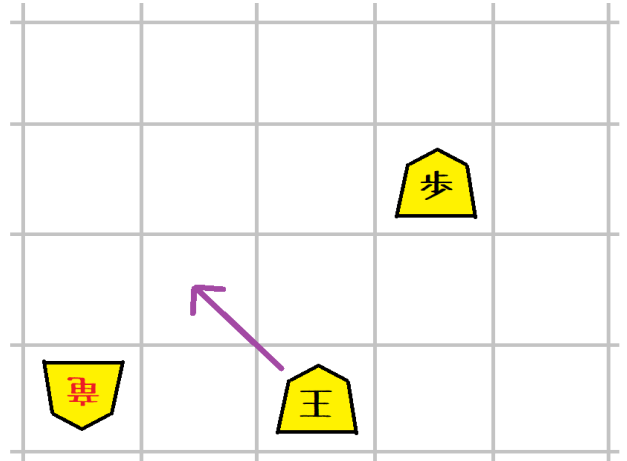


「逃げるだぜ」





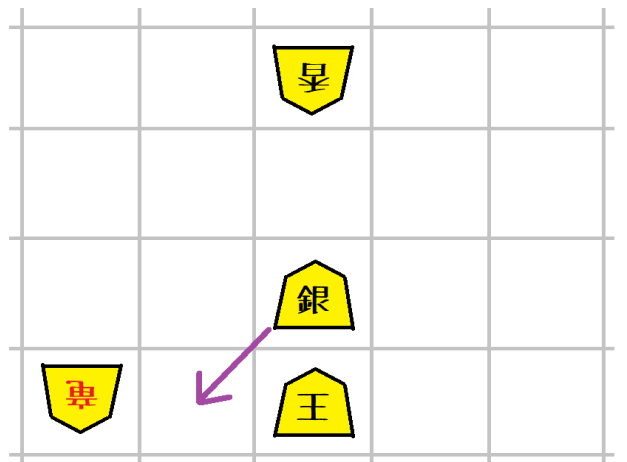
「逃げた先で  
相手の利きに  
飛び込んでしまう」



「そういうのを  
全パターン調べるのが  
コンピューター将棋  
なのよ」



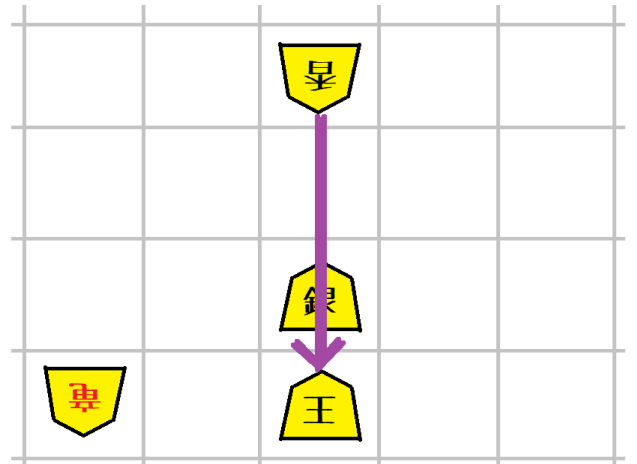
「銀を下げて  
間駒（あいごま）した  
と思ったら  
香が刺さる。  
むずかしい」



「いや、  
そんなことには  
ならないぜ」



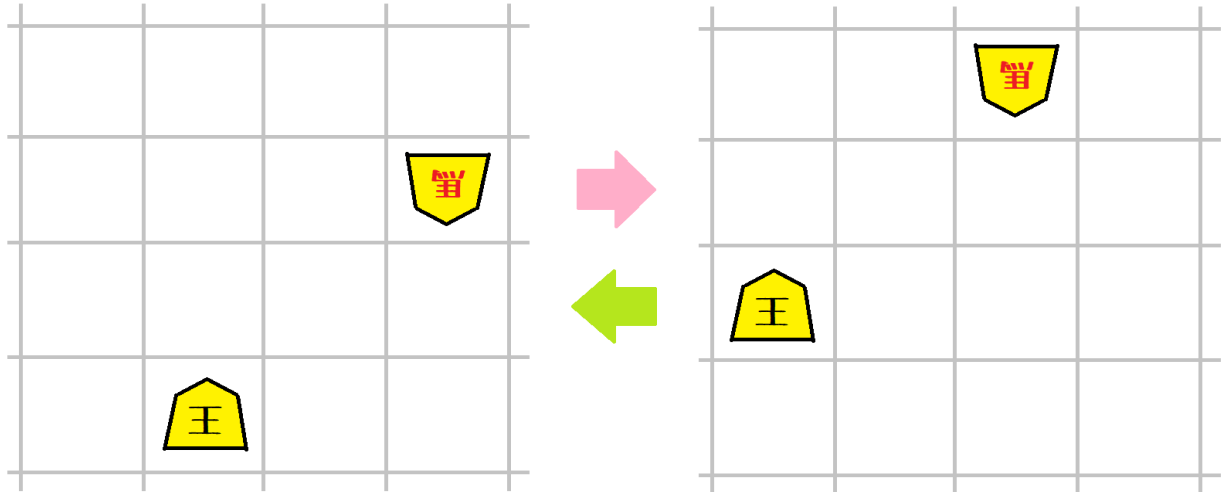
「相手の長い利きの駒は  
直線上の好きな所に  
止まれるから、  
王さまがそんなところに  
居ることは  
ありえないぜ」



「問題を解決しているな」



「しているのかなあ？」



「連続王手の千日手 は どうやって 避けるんだぜ？」



「千日手 は 1回まで！ さっさと 打開しろだぜ」



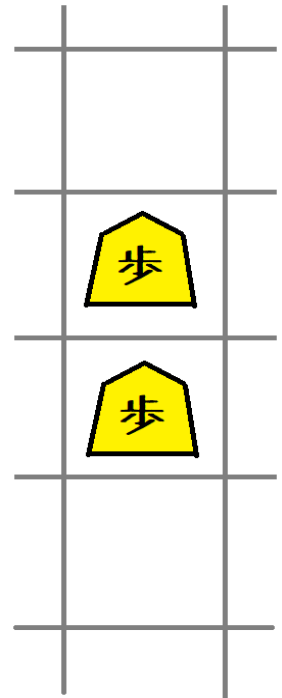
「二歩 は どうやって避けるの？」

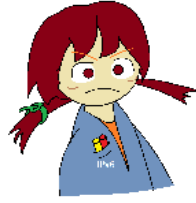
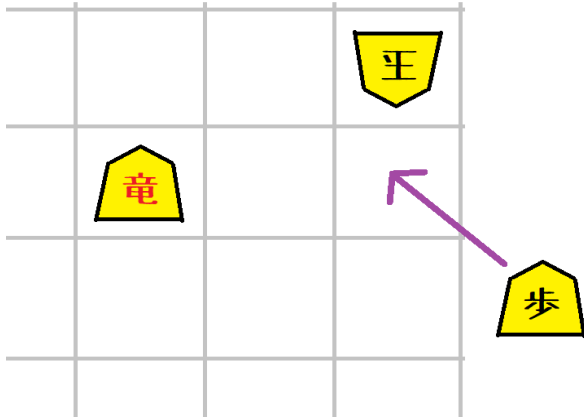


「次の一手 のとこだけ チェックしろだぜ。  
二日目以降の読み筋では  
好きなだけ 二歩 しろ だぜ」



「二歩ぐらい チェックすればいいのに……」





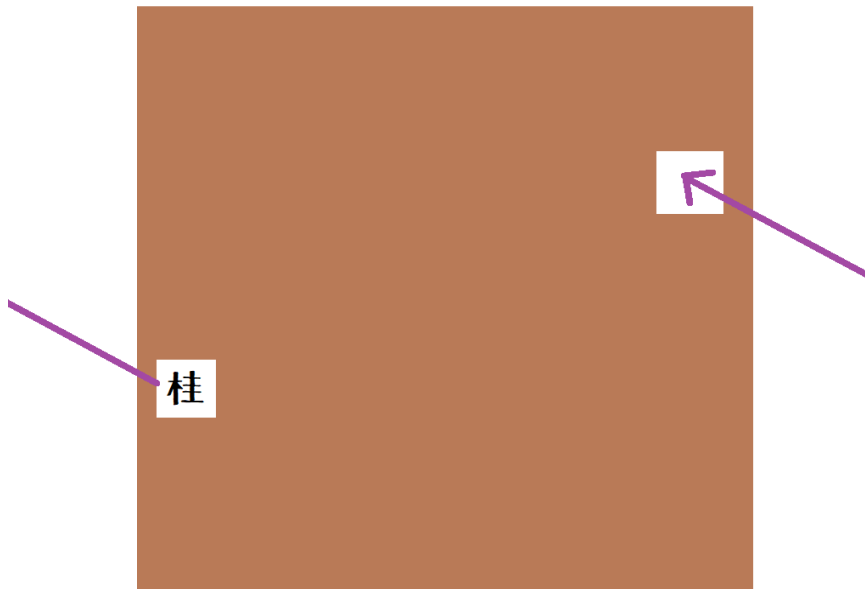
「打ち歩詰め は どうやって  
避けんの？」



「自分は 相手の玉の前に  
歩を打つな だけ。  
相手は好きなだけ  
打ち歩詰めしてこい だけ」



「レアケースなんか気にして  
避けるなんて  
損してるよな」



「桂 が世界一周してしまうのは どうやって避けんの？」



「自分の次の一手のときだけ、1筋と9筋にいる桂は  
慎重に飛べだけ。 二手目以降は すきなだけ飛べだけ」



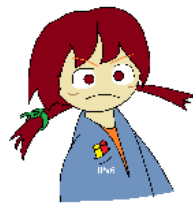
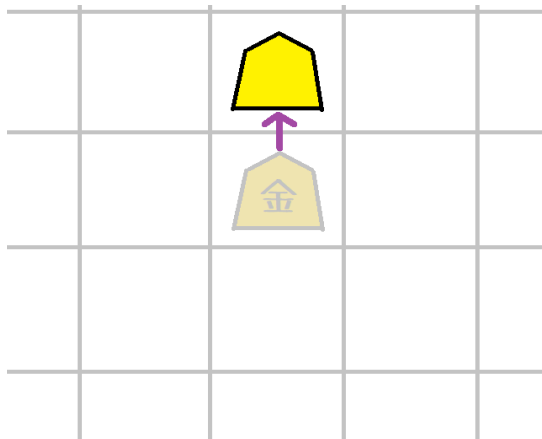
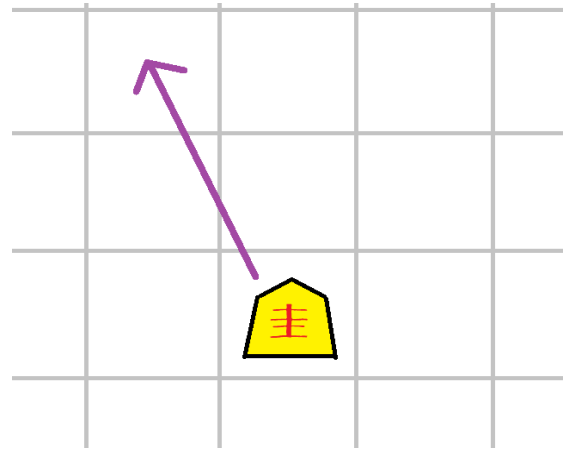
「べつに、いつも慎重に飛べばいいと 思うんだけどな」



「成桂 が跳ねたんだけど？」



「気持ちは分かる」



「金が 成ったんだけど」



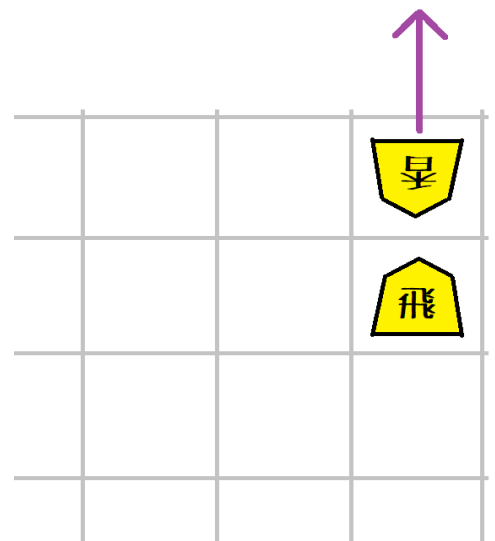
「他のみんなも 成れるしな」



「香車は 前にしか 進まないはずなのに なんで 1二 に打った飛は 取られるんだぜ？」



「その駒から見て、前 だからな。 長い利きのある駒のうち 香車だけ前後があるから 気をつけるだぜ」

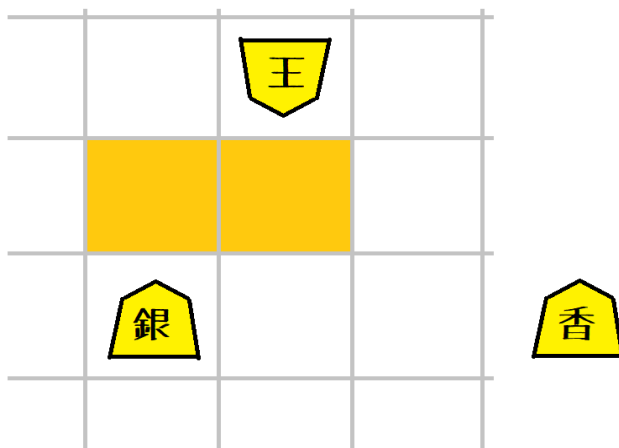


TANSAKU

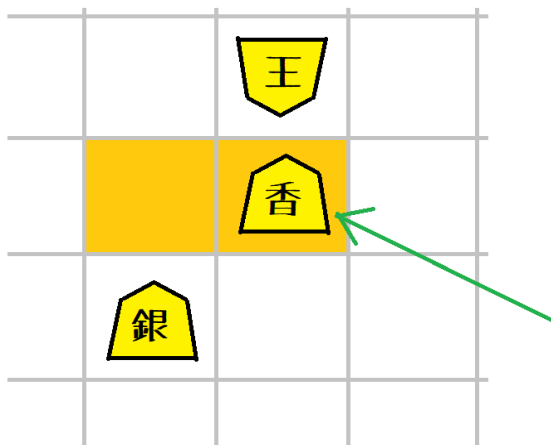
一手詰めできないと 探索 丰り無いしな



「自分の駒の利きがあるところに……」



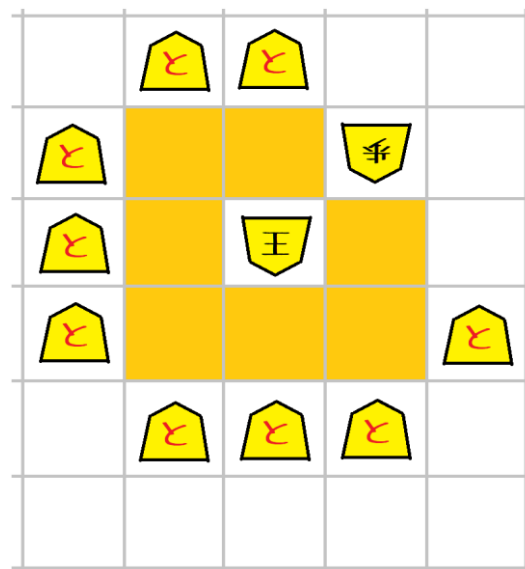
「駒を置いたら王手になる、そんなところにはさっさと打てだぜ」



「それだと、一手詰めに逃して無駄打ちするぜ」



「詰める、ということと王手をする、ということとは別なのよ」



「王手をする直前の状態が、8方向を敵の利き、または味方の駒で邪魔されていれば分かりやすいんだけど」





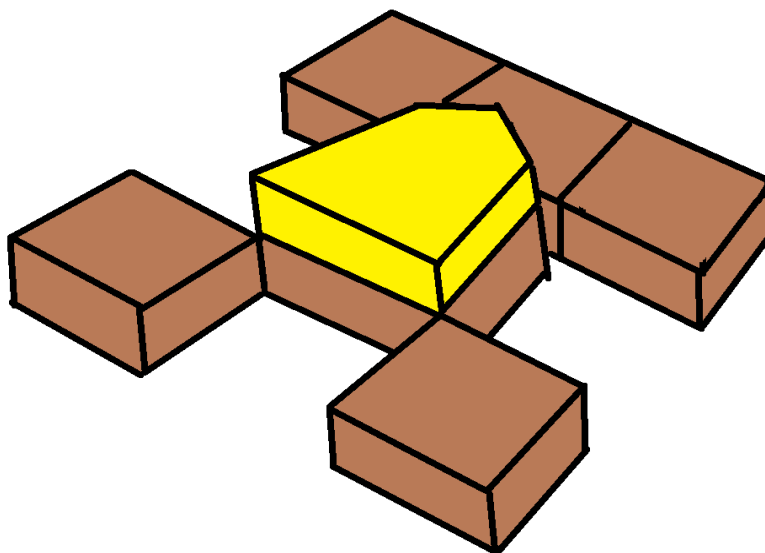
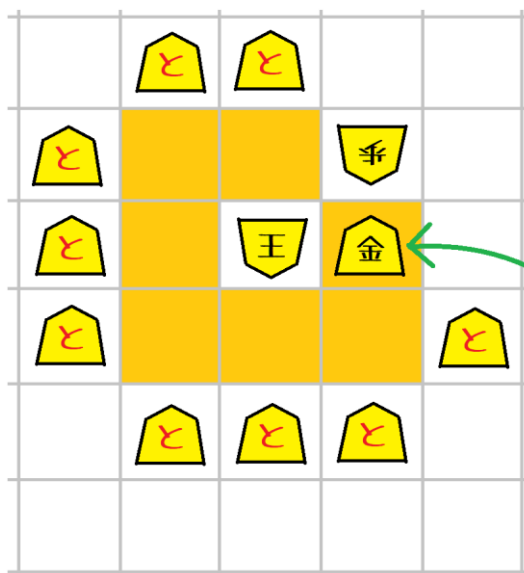
「せっかく王手しても、  
その駒を取り返されるか  
まで考えなくちゃ  
いけないのは  
大変だぜ」



「それをやるのが  
コンピューター将棋  
だぜ」



「つ5」



「駒に 利きマスも くっつけて、駒を動かしたら 利きマスも  
一緒に動くようにしようぜ？」



「勝手にしろだぜ！」

>>> Dad's movement is  
reluctant!